

定部金紙錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價一少月掛紙 料一少月掛紙 日祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

常盤新聞

刊夕日二十二月二十

川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番）
 印刷所 常盤毎日印刷所

第三回謝恩大興行 二十日より替り

△日活會社連續大映畫 原作……村上浪六 監督……辻吉郎

元録遺聞
妙法院勘八 篇後
 ◆河部五郎、尾上多見太郎
 ◆櫻木梅子、嵐狂松郎
 △血涙悲壯明治建國史
 日活オールスターキヤスト

尊王攘夷 卷廿
 △總指揮……池永浩久
 △原作……池田富保
 ◆山本嘉一、大河内傳次郎
 ◆尾上多見太郎、酒井米子、
 ◆黒船……神奈川の住民は
 膽を冷した……米軍艦より
 威嚇の空砲一發
 土曜學生生デ

通席 金十錢 平館

二十一日ヨリ歳末大興行
 △ラリーション主演映畫
笑國萬歲 卷七
 △マキノ超特作俠客義談

首斬地藏
 小金井勝、松本時之助、岡島
 艶子、河上君江、新見映郎
 大共演

▲帝キネ獨得正笑劇
頓珍漢三人男
 △藤岡林太郎、濱田格主演

▲大帝キネ連續特作愈々佳
 境、次郎長外傳
大政小政 後
 明石緑郎、松本田三郎、嵐
 璃徳の演

謝恩興行に付普通席
 金十錢
 帝キネ
 マキノ **有聲座**

スター好 ナフトール着尺
 新柄 モス着尺
 新柄 ホグシ銘仙
 其外色々取揃申候
 平町（電話五七番）
龜田屋

看護婦派出の求めに應ず
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

三益玉炭のお奨め

三井物産會社が多年研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文
 化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
 ◎無煙無臭で火付が早く、火持ち良く、火力が強く日
 常のニヤキにはコンナ便な品はありません
 ◎それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に
 合ひます
 ◎ドンナニ喰はずらいの人でも一度使へば必ず御氣
 ニ召すのが此の玉炭の特長です
 値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外
 お申越次第見本を持參してご覧に供しますから申越
 下さい

中 譯 前（電話二三七番）
阿部石炭商店

の「オチラ」

御用は 平野前高野自轉車店
 ラヂオ部へ御用命を

▼三球式（附屬品一切付）
 A 金百十圓也
 B 金八十五圓也
 C 金七十圓也

▼一球式（レシパー付）
 A 蓄電池 金卅三圓也
 B 乾電池 金卅三圓也
 ラヂオ製作、部分品、取付工事其他

高野自轉車店ラヂオ部
 平野前（電話三三六番）
 仙台放送局指定加入申込取扱所

七五三御祝の御用意品

毛糸マント
 ランシャオーバー
 洋服各種
 モヘヤマント
 帽子
 白毛襟巻
 チョッキ

種々入荷致しました
 から御用命を……

ツルヤ
 電話百四十番

外科 外科一般
 花柳科
 婦人科 婦人科
 内科 × 光線科
 平町字田町

平町紺屋町（縣社通り）
 美味評判 **イウキ食堂**
 オの部電話四六〇番

恋室病院
 （電話四七五番）

御大禮記念セイコー抽籤特賣

賞品總額拾壹萬參千圓

一等	壹百圓	五十本
二等	五十圓	二百本
三等	二十圓	五百本
四等	十圓	一千本
五等	五圓	二千本

セイコー製優美時計壹個
 一本も空籤なし

國民の擧つて奉祝する御大禮につきまして。此の曠古
 の御盛儀を記念するために國産セイコー腕時計の抽籤
 特賣を發表致します。永く保存が出来、御使用に便利な
 絶好の記念品として御薦め致します。

特約店 **大谷時計病院**
 平町三丁目（電話一九番）

平町南町
吉田眼科醫院

預金賣買を致します

公債 株式 賣買
 勸業債券高價買入

鈴木彌米商店
 平町大町

耳鼻咽喉科専門
 場所（舊診療所裏通り）

合津醫院
 平町仲田町（電話五五九）

外科專門
 花柳病專門

木村外科醫院
 入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際
 電話三〇九番

盛美酒眺月

銘酒 **雨浪**
 平四丁目平野通
 電話二〇七番

市原病院
 平町田町（電話一一四番）
 内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原 陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男

磐炭で持て餘す

磯原無煙炭礦の今後

成金の某氏買収を目論む
早晚實現を見る模様

磐城炭礦經營の茨城縣磯原
在元千代田炭礦は無煙炭と
して好況時代には相當重き
をなしてゐたが、打續く不
況と九州北海道方面の優良
炭に壓迫されて最近は相當
の出炭はあるも販路に支障
を生じ全く

經營困難

に陥りし
かも相當成績を収めてゐる
石城郡内郷村方面の鑛業所
にも影響を及ぼし經營まで
も脅かしてゐるので斯くて
は其倒れになるといふ意見
が幹部間に現れ磯原鑛業所
廢止論が擡頭したが廢止す
れば

千餘名の 従業員

磐銀の整理大に進む

開業は舊歲末後の二月中旬か

石城地方の財界漸く救済

休業中の磐城銀行は單獨開
業をなすべく鋭意整理中の
ところ最近全く終了したも
の、如くいよいよ某方面よ
りの特種をまつて開業す
手筈がきまつたといふが某
關係者の語るところによる
と

縣下六個所へ

支金庫設置

郡山若松平町白
河、喜多方、中村
縣金庫である第七銀行の

休業に伴ひ新たに指定する
縣金庫は安田支店が應じな
い處から豫定の如く縣農行
銀行へ移すことに決定し、
加勢知事から同行に對し縣
金庫指定の命令を發し廿一
日から取扱ひ開始すること
になつたがしかし農工の支

七轉八起の七年

人知れぬ大敷網の苦心

一かく千金そんな物でない
遠藤治太郎氏語る

大正十一年四月から開始し
た豊岡村の大敷網漁業は本
年を以て滿七ヶ年可成り大
規模な漁業を繼續し社會に
漸く認めらるゝに至つたが
同事業は更に茨城縣平潟海
岸にまで擴張し目下遠藤治
太郎氏が責任者として擔任
し大に活躍してゐる事は一
般周知の事實であるが今日
までの漁場成績について遠
藤治太郎氏は語る

該事業は克く一攫千金を
漁獲し得るので此の邊の
消息に暗い人々には非常
に有利な事業の如く見ら
れてゐるが事業は決して
左様な手易いものでは無
し、第一規模が大きいた

今創業當時の大正十一年
からの成績を見るに初年
が投網一張り僅か五萬
圓當年の投資が一切で十
七八萬圓十二年が九萬
圓十三年十五萬圓此三ヶ
年は缺損續き下あつたが
十四年には一舉に二十六
萬圓強といふ大漁で前期
三ヶ年の缺損がこの大漁
により稍々補填され翌十
五年には二十萬圓で幾分



家庭欄

火鉢に練炭を使用

練炭は木炭粉、コークス粉
を可燃體とし、これに形を
保たせるために、粘土、石
灰等を入れ、糊劑としてフ

ノリなどが混ぜてあります
それゆゑ練炭の使用は木炭
を燃やすことと考へれば大
差はなく木炭に伴ふ害は、
練炭にも共通に存じます、
その他練炭は硫黄を含むも
のが多く、そのため亜硫酸
瓦斯を出すものがあります
が、このやうなものは感心
できません

硝酸の付いた衣
硝酸を二十倍位にうすめた
液を黒色の所につけ、吸取
紙でふきとり、黒色のなく
なるまで繰返し、最後に水
で十分洗つて酸けをとり去
ります、もつともあらかじ
め、布の一部に酸液をつけ
て染色が變色するや否やし
らべて見てから行ひます

各趣好をこらしめて

クリスマスのお仕度

歳晚の慌しさをよそに
榮光に満つ平町の各教會

赤井嶽が如何にも年末ら
しく冷たい平町大通りの四
ツ角あたり毛皮襟深く埋め
て歩く人の頬も節季師走の
才畫に緊張して酔へるが如
く紅潮し

歳晚の

巷はこよな
く慌しさを漂はせてゐる軒
毎に輝かしいクリスマスデ
コレーションの窓飾りも日
一日年末氣分を濃厚ならし
め十枚足らずの残り少にな
つたカレンダーにも歳末の

哀愁は沁々と感ぜられて時
節柄お互の

顔色に

も生色頃に
減退の兆あるが單り町内の
各キリスト教會のみは年に
一度の降誕祭を目前に控へ

これが準備に浮世離れた明
るみを見せてゐる平町にお
けるクリスマス皮切りは

今二十二日午前十時から

材木町のバプテス

ト教會信榮幼稚園において

行はれたがその他南町の日
本キリスト教會や搔搔小路
の聖公會なども大体同じ
様な趣好の下に兩三日中に
おいて夫れ々行はれる筈
である

鮫川疏水の

復活を陳情

各縣議の案内で

小名濱町高木助役外五町議
は二十一日午前十時出縣石
城郡選出各縣議の案内で伊
藤内務部長と面接し小名濱
商港實現と共に密接なる關
係ある鮫川疏水の急復復活
につき屢々陳情する處あつ

全部釋放

不起訴處分

平警察署が全力を注いで檢
舉した不良團につき平檢事
局では引續き取調中であつ
たが不起訴處分として平署
に收容中の大串外五名を全
部釋放した

沼の溺死老人

十九
日午前七時頃江名町上神白
地内沼池に年齡六十歳前後
の一見乞食體の溺死體あり
尚同日平町字鎌田町地内に
行倒男あつたので平署から
係官出張兩者を取調べの結
果前者は本籍住所不明後者

御料理仕出し

うどん そば

天ぷら

鰻蒲焼

あまのこ

は岩手縣岩手郡白泉村生れ
當時住所不定無職佐藤兵治
(ア)と稱し各地を流浪し寒
冷の爲め發病死亡したものと
である

東京で捕はる

平署が全國府縣警察部に手
配捜査中の前科二犯詐欺横
領犯人富山縣生れ平町仲町

募集

文藝其他投稿
を募集します